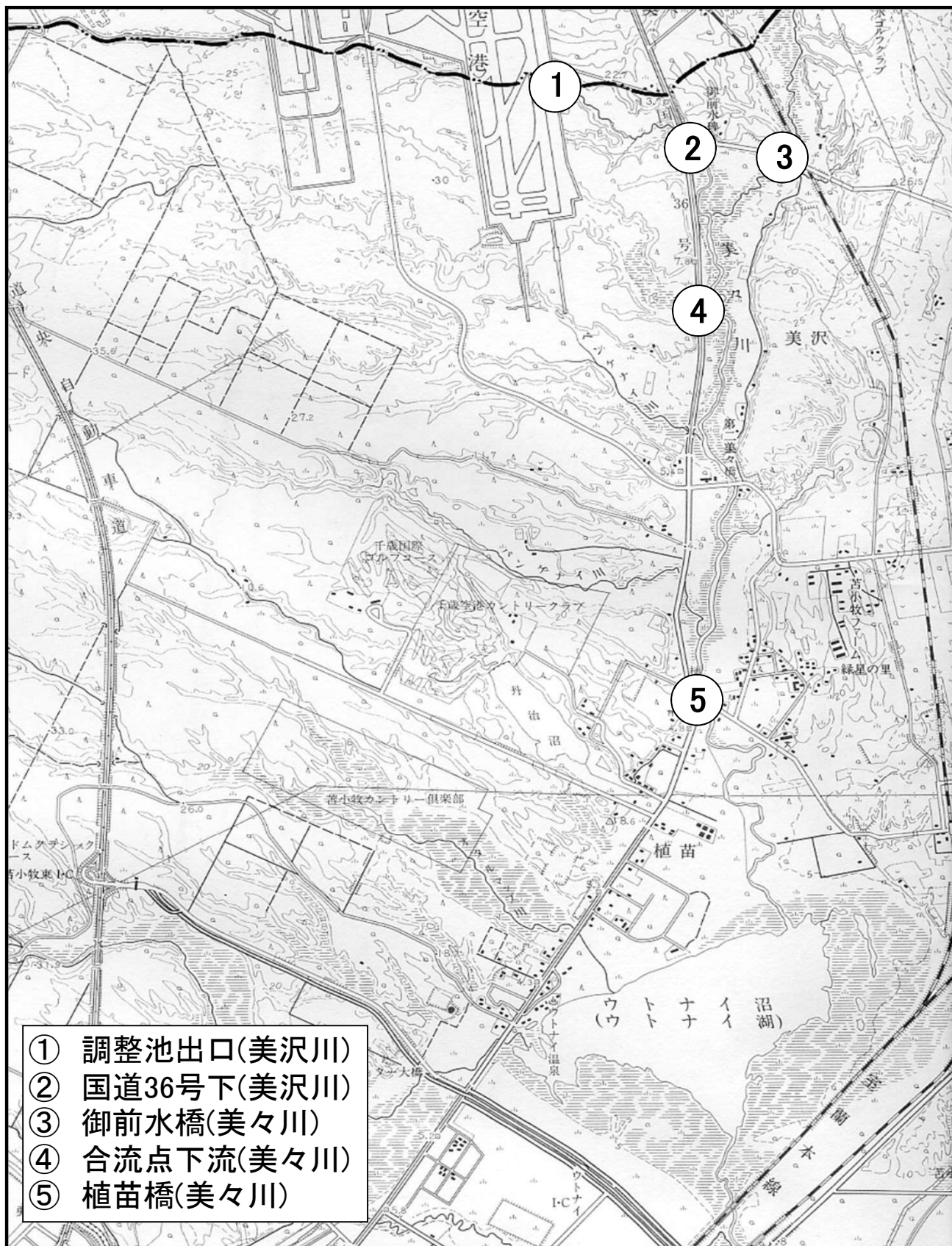


平成29年度

空港融雪剤に係る水質測定結果について

美沢川及び美々川の採水地点位置図



(1)美沢川周辺の水質測定結果

河川	採水地点	採水年月日	pH	BOD(mg/l)	DO(mg/l)	SS(mg/l)	大腸菌群数(MPN/100ml)	
美沢川 (環境基準類型指定を受けていない。)	①調整池出口	H29/4/5		1.8				
		H29/4/12		2.3				
		H29/4/19	7.2	3.0	8.6	1	50	
		H29/4/26		2.4				
		H29/5/10		1.5				
		H29/5/17		1.4				
		H29/5/24		2.3				
		H29/5/31		1.3				
		H29/6/14	7.2	0.8	7.0	10	300	
		H29/7/12		1.3				
		H29/8/9		2.1				
		H29/9/13	7.0	1.9	6.9	<1.0	500	
		H29/10/11		1.9				
	H29/11/15		2.5					
	②国道36号下	H29/4/19	7.1	2.3	8.4	5	21	
		H29/5/10	7.2	0.7	11	2	2	※
		H29/5/17		1.2				
		H29/6/14	7.1	0.8	7.0	1	14	
		H29/7/12		1.5				
		H29/8/2	7.0	0.6	5.6	1	140	※
H29/8/9			1.3					
H29/9/13		6.8	3.4	5.9	1	500		
H29/9/15		7.5	0.8	4.7	<1	900	※	
H29/10/11			1.1					
H29/11/1	7.6	0.7	5.9	1	30	※		
H29/11/15		2.0						
H30/2/14	6.7	0.7	8.7	10	2	※		
環境基準値(A類型)			6.5~8.5	2.0以下	7.5以上	25以下	1,000以下	
美々川 (A類型)	③御前水橋	H29/4/5		2.0				
		H29/4/12		3.6				
		H29/4/19	7.1	4.7	8.6	3	23	
		H29/4/26		1.7				
		H29/5/10		1.3				
		H29/5/10	7.0	0.8	9.1	2	8	※
		H29/5/17		2.0				
		H29/5/24		1.7				
		H29/5/31		1.1				
		H29/6/14	7.2	1.5	6.9	12	17	
		H29/7/12		1.3				
		H29/8/2	6.8	0.6	6.8	1	50	※
		H29/8/9		1.1				
		H29/9/13	6.7	3.9	7.0	16	900	
		H29/9/15	7.7	0.8	6.1	1	110	※
		H29/10/11		1.2				
		H29/11/1	7.3	0.8	7.4	2	80	※
	H29/11/15		1.6					
	H30/2/14	7.1	0.8	9.6	3	23	※	
	④合流点下流	H29/4/19	7.1	2.4	8.9	3	22	
		H29/5/10	7.0	0.9	9.7	3	13	※
		H29/5/17		1.5				
		H29/6/14	7.1	0.9	7.0	2	23	
		H29/7/12		1.0				
		H29/8/2	7.7	<0.5	6.5	<1	30	※
		H29/8/9		1.8				
		H29/9/13	7.1	3.2	6.2	3		
		H29/9/15	7.4	0.6	5.2	<1	130	※
		H29/10/11		1.1				
		H29/11/1	7.6	0.6	7.9	1	50	※
		H29/11/15		1.3				
	H30/2/14	6.7	0.8	10	9	23	※	
	⑤植苗橋	H29/4/19	7.1	2.3	9.1	3		
H29/5/10		7.2	0.9	11	2		※	
H29/5/17			1.9					
H29/6/14		7.2	0.9	8.3	6			
H29/7/12			1.2					
H29/8/2		7.6	0.7	9.1	3	54	※	
H29/8/9			1.4					
H29/9/13		6.8	1.9	6.9	5			
H29/9/15		7.7	<0.5	7.0	<1	170	※	
H29/10/11			1.3					
H29/11/1		7.6	<0.5	9.0	1	80	※	
H29/11/15			2.0					
H30/2/14		6.8	0.5	11	7	23	※	

※調整池からの放流期間
H29/8/1~8/30
H29/9/14~9/21
H29/10/11~11/17

※を示したものは環境保全課調べ。その他は国土交通省新千歳空港事務所調べ。

空港における防除雪氷剤・融雪剤の年間使用量の推移(10年間)

	防除雪氷剤			融雪剤		
	タイプ I (kl)	タイプ IV (kl)	合計 (kl)	蟻酸系 (kg)	酢酸系 (kg)	合計 (kg)
平成20年度	490	480	970	26,600	5,100	31,700
平成21年度	495	349	844	17,210	2,635	19,845
平成22年度	536	373	909	46,920	3,007	49,927
平成23年度	614	477	1,091	84,770	0	84,770
平成24年度	616	562	1,178	14,810	0	14,810
平成25年度	642	618	1,260	16,800	0	16,800
平成26年度	539	544	1,083	48,600	0	48,600
平成27年度	495	536	1,031	112,400	0	112,400
平成28年度	799	713	1,512	244,100	0	244,100
平成29年度	668	589	1,256	329,700	0	329,700

※防除雪氷剤:雪氷の除去や付着防止のため、航空機の機体に塗布するもの

タイプ I :プロピレングリコール80%、水20%

タイプ IV:プロピレングリコール50%、水35%、増粘剤・防錆剤等15%

※融雪剤:滑走路、誘導路、駐機場の凍結防止のために散布するもの

「防衛施設周辺の生活環境の整備等に関する法律」に基づく助成事業実施一覧

◎第3条（学校、病院、福祉施設等の防音工事助成）

1 学校

（単位：千円）

年 度	事 業 内 容	補 助 金
25	沼ノ端中学校(講堂)防音対策工事(機能復旧工事) 工事	22,221
	植苗・沼ノ端・勇払小中学校防音事業関連維持費補助金	3,869
26	植苗・沼ノ端・勇払小中学校防音事業関連維持費補助金	4,045
27	植苗・沼ノ端・勇払小中学校防音事業関連維持費補助金	3,778
28	植苗・沼ノ端・勇払小中学校防音事業関連維持費補助金	3,359
29	植苗・沼ノ端・勇払小中学校防音事業関連維持費補助金	3,461
30	植苗・沼ノ端・勇払小中学校防音事業関連維持費補助金	3,528 (予定)

2 福祉施設

年 度	事 業 内 容	補 助 金
25	苫小牧いずみ幼稚園 防音対策工事(機能復旧工事) 工事	10,977
26	なし	0
27	なし	0
28	なし	0
29	なし	0
30	なし	0

◎第4条（一般住宅の防音工事）

◎第8条（民生安定施設補助金）

1 道路等

年 度	事 業 内 容	補 助 金
25	千歳飛行場周辺無線放送施設設置助成事業（移動系防災行政無線デジタル化整備工事）	126,769
26	なし	0
27	なし	0
28	なし	0
29	なし	0
30	なし	0

◎第9条（特定防衛施設周辺整備調整交付金）

1 道路等

（単位：千円）

年 度	事 業 内 容	交 付 金
25	①勇払南3条線改良舗装事業L:129m W:5.5m (13,236・交付金12,000) ②東開町1丁目3号線改良舗装事業L:142m W:5.5m (15,258・交付金13,600) ③美々遠浅線外2線防雪柵 L:66.5m (11,275・交付金10,000) ④苫小牧駅自由通路トイレ等改修事業 (28,339・交付金27,700) ⑤沼ノ端スケートセンター製氷車購入事業 (21,682・交付金21,680) ⑥新栄公園フェンス設置事業 (1,785・交付金1,600) ⑦沼ノ端スケートセンターオーバーフエンス設置事業 (6,636・交付金6,350) ⑧白鳥アリーナトレーニング機器購入事業 (2,887・交付金2,620) ⑨植苗分団消防車両重点整備事業 (2,257・交付金2,140) ⑩中央図書館熱交換器改修事業 (2,520・交付金2,490) ⑪災害用備蓄品購入 (24,495・交付金22,576)	122,756
26	①勇払南3条線改良舗装事業L:226m W:8.0m (15,444・交付金15,000) ②東開町1丁目3号線改良舗装事業L:204m W:8.0m (22,894・交付金22,000) ③美々遠浅線防雪柵設置事業 (15,328・交付金13,000) ④海拔表示シート設置事業 (2,236・交付金2,200) ⑤勇払公民館煙突改修事業 (7,344・交付金6,940) ⑥緑ヶ丘公園陸上競技場備品整備事業 (6,405・交付金5,700) ⑦心身障害者福祉センター送迎車両整備事業 (22,829・交付金21,022) ⑧児童用机・椅子整備事業 (11,703・交付金11,284) ⑨消防団安全装備品整備事業 (14,569・交付金13,800) ⑩新富出張所消防車両重点整備事業 (1,253・交付金1,140) ⑪災害用備蓄品購入 (5,595・交付金5,565)	117,651
27	①勇払南3条線改良舗装事業 (16,788・交付金16,000) ②美々遠浅線防雪柵設置事業 (22,013・交付金20,000) ③沼ノ端南8号公園再整備事業 (21,497・交付金19,800) ④児童用机・椅子整備事業 (10,322・交付金10,300) ⑤新開町13条線改良舗装工事 (31,916・交付金31,000) ⑥緑ヶ丘公園庭球場休憩棟屋根改修事業 (9,072・交付金6,000) ⑦沼ノ端スポーツセンター暖房設備整備事業 (2,052・交付金1,960) ⑧沼ノ端出張所消防車両重点整備事業 (1,815・交付金1,650) ⑨災害用備蓄品購入 (9,319・交付金7,011)	113,721
28	①美々遠浅線防雪柵設置事業 (15,800・交付金15,000) ②苫小牧早来線改良舗装事業 (28,448・交付金27,000) ③遊歩道「そよ風と遊ぶ道」改良舗装事業 (28,890・交付金27,000) ④勇払6号公園整備事業 (20,175・交付金20,000) ⑤児童用机・椅子整備事業 (9,324・交付金9,300) ⑥大気汚染監視システム更新 (13,392・交付金13,000) ⑦災害用備蓄品購入 (3,553・交付金3,458)	114,758
29	①美々遠浅線防雪柵設置事業 (9,828・交付金9,000) ②苫小牧早来線改良舗装事業 (43,406・交付金40,500) ③遊歩道「そよ風と遊ぶ道」改良舗装事業 (20,736・交付金19,500) ④勇払10号公園整備事業 (26,957・交付金26,000) ⑤児童用机・椅子整備事業 (10,227・交付金8,987) ⑥災害用備蓄品購入 (11,678・交付金11,384)	115,371
30	①美々遠浅線防雪柵設置事業 (16,700・交付金15,000) ②苫小牧早来線改良舗装事業 (45,000・交付金40,500) ③植苗小中学校屋根改修工事 (35,932・交付金32,300) ④遊歩道「そよ風と遊ぶ道」改良舗装事業 (15,000・交付金13,500) ⑤児童用机・椅子整備事業 (6,344・交付金5,000) ⑥災害用備蓄品購入 (8,600・交付金7,700)	114,000（予定）

第4条（一般住宅の防音工事）
住宅防音工事実施状況（北海道防衛局）

平成30年3月末現在

（単位：世帯）

年度	住宅防音工事	機能復旧工事	
		空調機器	防音建具
H7	69	15	—
H8	79	9	—
H9	27	22	—
H10	5	62	—
H11	19	31	0
H12	7	9	1
H13	51	13	1
H14	4	29	1
H15	1	8	0
H16	0	1	0
H17	0	2	0
H18	3	4	0
H19	0	13	29
H20	0	13	14
H21	7	7	121
H22	5	71	18
H23	6	28	26
H24	12	31	20
H25	0	18	17
H26	3	9	7
H27	0	14	47
H28	0	23	46
H29	2	13	16

防音工事は従来、新規・追加の2段階に分けて実施されており、平成8年度に追加工事が工事実施区域の南端まで到達した事で一応の区切りとし、平成9年度からは、工事対象世帯であるが都合により実施していなかった世帯の工事を行っています。

空調機器機能復旧工事は、既に設置の暖房機・換気扇・レンジ扇が10年以上経過し故障している場合、取替工事を実施するものです。（再度も可）

30. 1. 11
千歳基地基地対策室

B-747の部品の脱落紛失について

1 発生日時

平成30年1月11日(木) 11時40分頃～13時20分頃

2 発生部隊

特別航空輸送隊

3 概要

千歳基地所属のB-747が、定期整備後の機体移動のため本日1200頃、東京国際空港を離陸し、1310頃、新千歳空港に着陸した後、右主翼とエンジンを結合する部位のパネル1枚が脱落、紛失していることが判明しました。

4 原因

確認中

5 脱落、紛失した部品

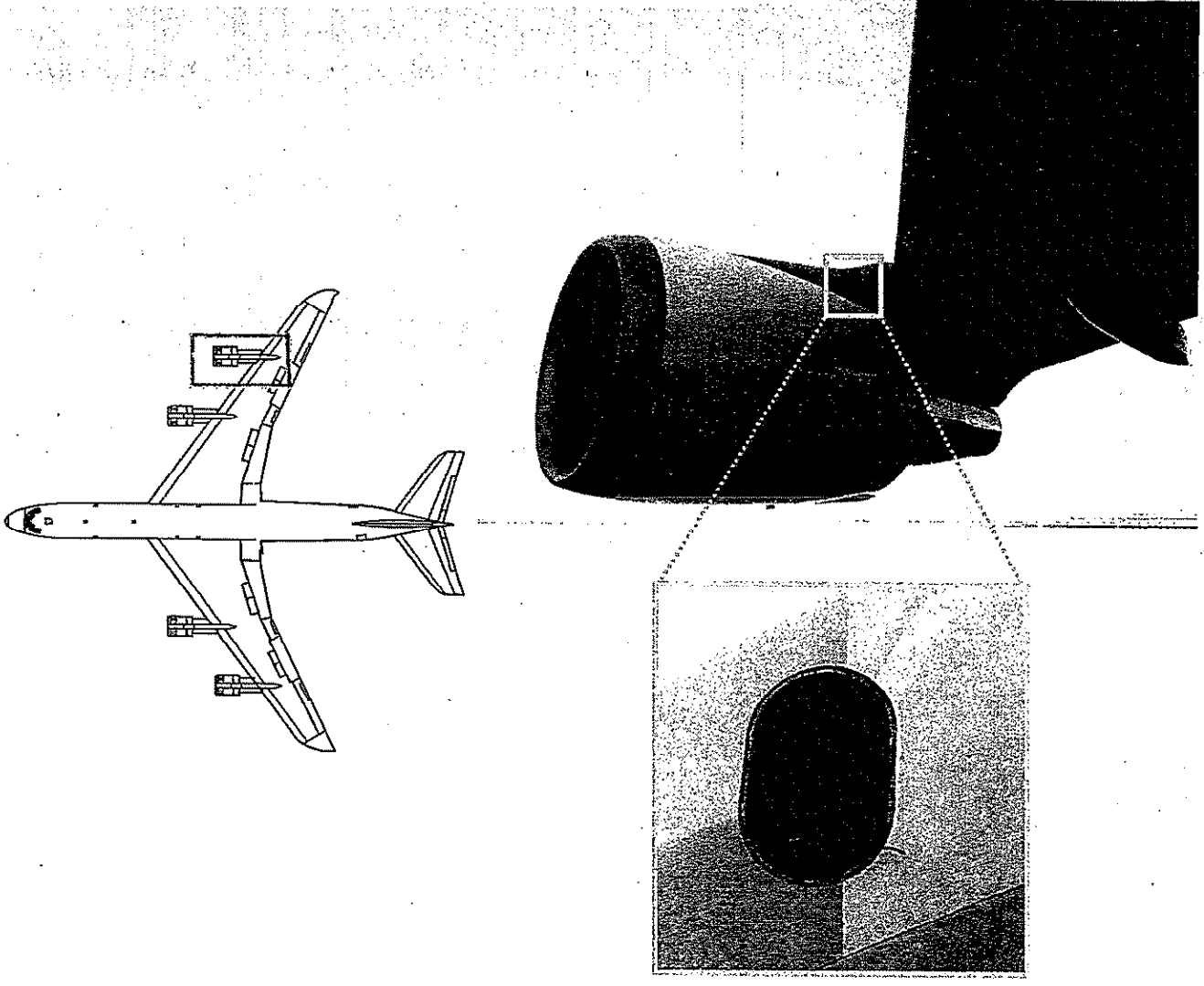
右主翼とエンジンを結合する部位のパネル×1枚(楕円、白色、金属製)
(大きさ:約38cm×20cm、厚さ:約2mm、重さ:約500g)

連絡先:千歳基地基地対策室

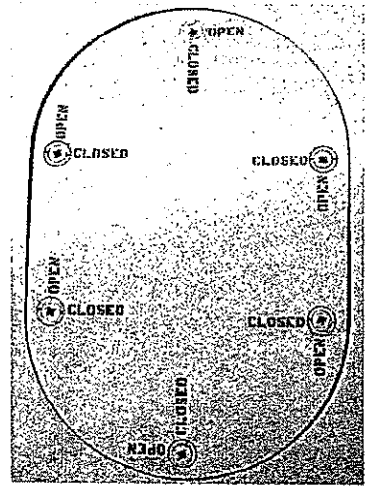
TEL 0123-23-3101(内線2214)

FAX 0123-23-6469(直通)

当該部位 (No. 4エンジン)



当該パネル (他機と同種部品)



平成29年度 再編関連訓練移転等交付金事業(結果)

(単位：千円)

事業名		交付金				
		当初額 H29年5月	変更後 H29年11月	確定額	増減	
植苗・美沢地区	植苗地区テレビ共同受信施設増設事業	12,710		12,710	0	
	植苗ポンプ場非常用発電機設置事業	27,000	11,259	11,259	0	
	植苗道管住宅建設に係る道路整備事業		7,540	7,540	0	
	小計	39,710	18,799	31,509	0	14.1%
沼ノ端地区	沼ノ端スケートセンター除湿機設置事業	11,750		11,750	0	
	沼ノ端ｽｰｯﾝﾝﾝﾝ等ﾄｰﾚﾝｸﾞ器具設置事業	6,120		22,002	15,882	
	消防署沼ノ端出張所簡易型消火用水槽整備事業		2,070	2,070	0	
	沼ノ端駅周辺防犯カメラ設置事業		9,500	7,270	-2,230	
	沼ノ端鉄北地区複合施設備品整備事業		950	1,905	955	
	小計	17,870	12,520	44,997	14,607	20.2%
勇払地区	勇払5号公園整備事業		27,000	27,000	0	
	小計	0	27,000	27,000	0	12.1%
三地区含む共通	小中学校図書整備事業	10,000		10,000	0	
	除雪等車両整備事業	33,300	31,827	31,827	0	
	小中学校トイレ洋式便器設置事業		18,910	18,910	0	
	小中学校防災用WI-FI整備事業		14,700	14,700	0	
	小計	43,300	65,437	75,437	0	33.8%
共通	保健センター医療機器整備事業	15,670		15,670	0	
	総合体育館備品等整備事業		17,400	17,483	83	
	乳幼児用健診等機器整備事業		6,390	6,110	-280	
	市立病院医療機器整備事業		19,379	4,969	-14,410	
	小計	15,670	43,169	44,232	-14,607	19.8%
合計		116,550	166,925	223,175	0	

平成29年度再編関連訓練移転等交付金額／223,175千円

平成30年度 再編関連訓練移転等交付金予定事業

(単位：千円)

事業名		交付金	
植苗・美沢地区	植苗道営住宅建設に係る道路整備事業	63,000	
	小計	63,000	63.0%
沼ノ端地区	沼ノ端交流センター備品等整備事業	37,000	
	小計	37,000	37.0%
勇払地区			
	小計	0	0.0%
三地区含む共通			
	小計	0	0.0%
共通			
	小計	0	0.0%
合計		100,000	

再編関連訓練移転等交付金額 当初予算 100,000千円（見込み）

※その他検討事業

- 植苗ファミリーセンター放送機器等整備事業
- 沼ノ端コミュニティセンタートレーニング機器等整備事業
- 沼ノ端駅前シンボルロード整備事業
- 勇払地区防火水槽整備事業
- 勇武津資料館等施設整備事業
- 小中学校図書整備事業
- 市立病院医療機器整備事業

再編関連訓練移転等交付金交付要綱の一部改正について

交付の目的

再編関連訓練移転等交付金は、米軍再編に係る訓練移転等の実施による影響の程度等を考慮し、住民の生活の安定に寄与するために必要な措置を講じ、もって訓練移転等の円滑かつ確実な実施に資するため、平成29年度から10年間の措置として、毎年度の予算の範囲内で交付

改正の概要

1. 航空機の訓練移転

○ 交付額について以下の区分を規定

- 定額分 住民の生活の安定に寄与する事業を切れ目なく実施するため、再編交付金の総額の5割程度を各年度に配分した額(ただし、平成34年度以降は逡減)【第8条第1項第1号関係】
- 実績分 各年度の第2四半期までの過去3年間の訓練移転等の実施状況を踏まえた額(過去3年間訓練が実施されなかった場合には2年間の激変緩和措置)【第8条第1項第2号関係】

○ それぞれの算定方法について規定【第8条第2項から第4項まで関係】

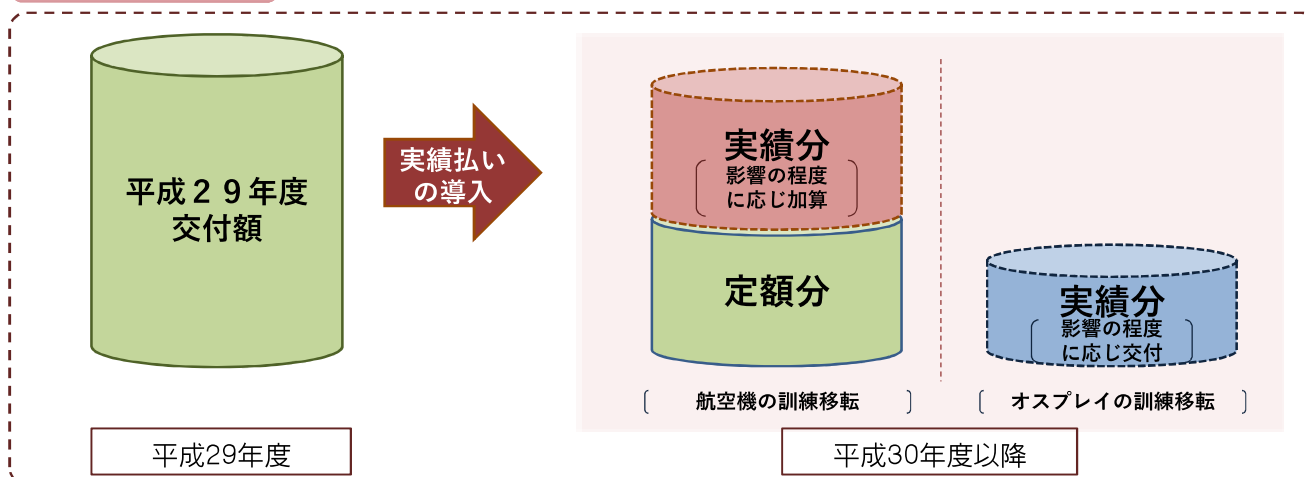
2. オスプレイの訓練移転

普天間飛行場に所在するオスプレイを使用した訓練移転等(日米共同訓練に限る)を対象とし、交付金の算定方法について規定(「実績分」のみ交付)【第9条関係】

施行期日

平成30年4月1日

交付イメージ



「北海道における空港経営改革」に関する検討の経過

※平成 29 年度第 2 回苫小牧市航空機騒音対策協議会（平成 29 年 11 月 14 日）以降の経過

平成 29 年 12 月 22 日	北海道空港株式会社と株式譲渡契約を締結
平成 30 年 2 月 9 日	国と札幌国際エアカーゴターミナル株式会社の株式譲渡予約契約を締結
平成 30 年 2 月 13 日	「北海道内空港運営の一括民間委託に関する 4 管理者トップ会合」開催
平成 30 年 3 月 28 日 3 月 29 日	「第 7 回北海道における空港経営改革に関する協議会」開催 「北海道内 7 空港特定運営事業等実施方針」公表

北海道内 7 空港における一括民間委託に係る株式譲渡等について

1 北海道空港株式会社

(1) 株式の状況

- ①発行済株式総数 7,500 株（株主数 27 名）
- ②資本金 3 億 7,500 万円（額面 50,000 円×7,500 株）
- ③市株式保有状況 昭和 36 年 12 月 14 日取得 100 株 出資 500 万円
- ④出資目的 新千歳空港発展のために、近隣自治体として協力体制を維持するため
- ⑤自治体株式 北海道 1,000 株、千歳市 1,000 株、札幌市 300 株、室蘭市 100 株

(2) 株式譲渡の理由

北海道空港(株)では、北海道内 7 空港における一括民間委託の公募へ参加する意向が示されており、「関係地方公共団体との資本関係の解消」が入札への参加要件となっていることから、北海道空港(株)から市に対し株式譲渡の依頼があったため。

(3) 譲渡価額

1 株当たり 240 万円

(4) 譲渡収入額

2 億 4 千万円（保有株 100 株 × 240 万円）

(5) 結果

本市としましては、平成 29 年 9 月 19 日、北海道空港(株)から株式有償譲渡の依頼、平成 29 年 11 月 9 日の株価提示を受けて、北海道による鑑定評価を踏まえ、妥当と判断し、これに了承し、保有する株式を有償譲渡する。

(6) 株式譲渡契約締結

平成 29 年 12 月 22 日、北海道空港（株）と株式譲渡契約締結

(7) 株式譲渡収入の取扱い

株式譲渡収入については、財政調整基金積立金へ充当し、主に下記の内容で活用していく。

- ①株式出資当初の目的である「新千歳空港の発展のために近隣自治体として協力体制を維持する」に沿った空港関連事業の財源
- ②新千歳空港の民間委託における今後の S P C（特定目的会社）などとのパートナーシップ協定等に基づく空港関連事業の財源
- ③観光・産業の振興に資する事業などの財源

2 札幌国際エアカーゴターミナル株式会社

(1) 株式の状況

- ①発行済株式総数 20,000 株（株主数 75 名）
- ②資本金 10 億円（額面 50,000 円×20,000 株）
- ③市株式保有状況 昭和 63 年 8 月 31 日取得 300 株 出資 1,500 万円
- ④出資目的 新千歳空港の国際エアカーゴ基地化推進を図り、地域経済の発展に資するため
- ⑤自治体株式 北海道 2,000 株、千歳市 500 株 他

(2) 株式譲渡の理由

札幌国際エアカーゴターミナル(株)は、北海道内 7 空港における一括民間委託の対象事業であり、株式を含めて運営権者となる S P C（特定目的会社）へ引継がれるため。

(3) 株式譲渡予約契約締結

平成 30 年 2 月 9 日、国と株式譲渡予約契約を締結。

(4) 株式譲渡契約の時期

平成 31 年 10 月頃の実施契約締結後に、運営権者となる S P C（特定目的会社）と行う予定。

(5) 株式譲渡収入の取扱い

株式譲渡収入については、財政調整基金積立金へ充当し、主に下記の内容で活用していく。

- ①株式出資当初の目的である「新千歳空港の発展のために近隣自治体として協力体制を維持する」に沿った空港関連事業の財源
- ②新千歳空港の民間委託における今後の S P C（特定目的会社）などとのパートナーシップ協定等に基づく空港関連事業の財源
- ③観光・産業の振興に資する事業などの財源

北海道内7空港特定運営事業等実施方針

国土交通省・旭川市・帯広市・北海道において、民間事業者による滑走路等とターミナルビル等の運営を一体的に実施するための実施方針を策定・公表する。

本事業の概要

- **事業期間**
 - ・ 30年間（十不可抗力延長で最長35年間）
- **事業方式**
 - ・ 運営権者は、国が管理する新千歳空港・稚内空港・釧路空港・函館空港、地方公共団体が管理する旭川空港・帯広空港・女満別空港の運営を実施（実施方針の策定・実施契約の締結は管理者毎に実施）
 - ・ 運営権者は、着陸料その他の収入を設定・収受し、これらの収入により事業実施に要する費用を負担する（国管理4空港については原則すべての費用を運営権者が負担するが、地方管理3空港については公的負担を伴う「混合型」の制度設計とする）
- **運営権者からの提案を求めめる事業（提案事業）**
 - ・ 航空ネットワーク・道内航空ネットワークの充実強化に関する事業
 - ・ 北海道の広域観光の振興に関する事業
 - ・ 地域との共生に関する事業
- **運営権者の責任の履行確保に関する事項**
 - ・ 4管理者共通化の枠組みによりモニタリングを実施
 - ・ 提案事項や要求水準を遵守しない事態が続いた場合に、4管理者全ての契約解除を念頭に対処できる包括的な仕組みや4管理者間協議の場を構築
- **運営権対価等**
 - ・ 運営権対価一時金（ゼロ円を上回る金額を提案）と運営権対価分割金（24億円/年×30年間）を国に支払う
 - ・ 地方管理3空港は、公的最大負担額の削減額について空港毎に提案を受ける

運営権者の募集・選定

※スケジュールは現時点での想定であり、今後、変更があり得る

- **優先交渉権者選定手続**
(H30.4～H31.7)
 - ・ 有識者等で構成する審査委員会により審査（国が設置する委員会により7空港の提案内容を一体的に審査）
 - ・ 応募者が一定の参加資格要件を満たしているかを確認の上、提案内容を2段階で審査
 - ・ 道内7空港のマーケティング力の底上げ・航空ネットワークの充実を図り、地域と連携した広域観光の振興を含めた地域経済の活性化に資する者を総合的に判断のうえ優先交渉権者を選定
 - ・ 優先交渉権者が設立したSPCと管理者毎に実施契約を締結、所要の引継ぎを実施

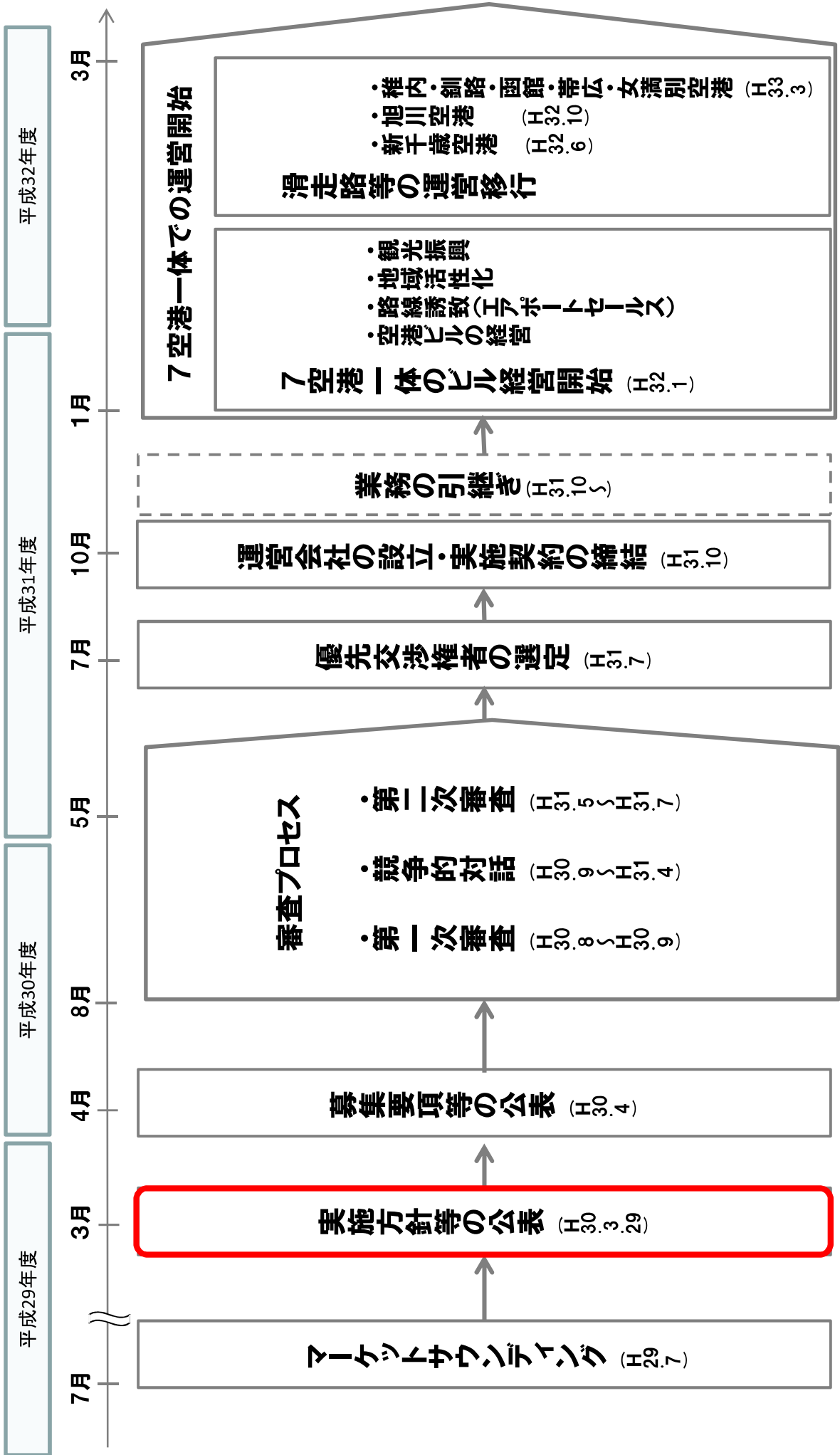
⇒ 上記の手続を経た上で、7空港一体での運営開始

【空港運営開始の想定スケジュール】

- H32.1月頃 7空港一体のビル経営開始
- H32.6月頃～ 滑走路等の運営移行
 - H32.6月頃～ 新千歳空港
 - H32.10月頃～ 旭川空港
 - H33.3月頃～ 稚内・釧路・函館・帯広・女満別空港

北海道内7空港運営委託に向けた現時点での想定スケジュール

※スケジュールは現時点での想定であり、今後、変更があり得る



平成 30 年度 苫小牧市航空機騒音対策協議会 要望活動(案)

1 日 程 平成 30 年 9 月〇〇日 (〇) 千歳・札幌
平成 30 年 9 月〇〇日 (〇) ~ 〇〇日 (〇) 【2 日間】 東京

2 要望活動者 ・千歳・札幌 委員 11 名、事務局 5 名
・東京 委員 5 名、事務局 4 名

3 要望先

■国会議員 (議員会館：千代田区永田町)

衆議院議員 堀井 学

参議院議員 橋本 聖子

■国土交通省

大臣

副大臣

政務官

航空局 (千代田区霞が関 2-1-3)

局 長

航空ネットワーク部長

空港業務課長

東京航空局 (千代田区九段南 1-1-15)

局 長

次 長

総務部長

空港部長

保安部長

安全管理官

空港部次長

総務部総務課長

総務部航空振興課長

空港部管理課長

空港部環境・地域振興課長

空港部空港企画調整課長

空港部土木建築課長

保安部技術保安企画調整課長

保安部管制課長

保安部管制技術課長

新千歳空港事務所 (千歳市美々)

空 港 長

■防衛省

大臣

副大臣

政務官

防衛政策局 (新宿区市ヶ谷本村町 5-1)

局 長

防衛政策課長

運用政策課長

地方協力局 (新宿区市ヶ谷本村町 5-1)

地方協力局長

地方協力企画課長

地方調整課長

防音対策課長

航空幕僚監部 (新宿区市ヶ谷本村町 5-1)

航空幕僚長

総務部長

運用支援・情報部 運用支援課長

総務部 総務課 基地対策室長

航空自衛隊第 2 航空団 (千歳市平和)

千歳基地司令

北海道防衛局 (札幌市中央区大通西 12)

局 長

次 長

企画部長

4 要望書 別紙のとおり

要 望 書 (案)

「航空機騒音の一層の軽減及び安全対策」について、

別記理由により特段の御高配を賜ります

ようお願い申し上げます。

平成30年〇月〇〇日

苫小牧市長 岩倉博文

苫小牧市航空機騒音対策協議会
会 長 丹羽秀則

理 由 書 (案)

新千歳空港は、国際線ターミナルビルの整備など国内線及び国際線の拠点空港として、基盤を整えてきております。

一方、航空機の離着陸機数の増加、運航時間の延長により、航空機の騒音や事故など一層増えており、空港周辺の住民は、生活環境への影響や航空機事故に対する不安を抱えながら、生活している状況にあります。

国におきましては、騒音軽減対策及び安全対策を実施されているところでありますが、さらに下記事項について、貴職の特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 着陸時における住宅街での飛行高度を遵守すること並びに離陸時における通常の飛行コースを遵守すること

また、離陸時の飛行として住宅街を避けるコースを設定すること

- 2 運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること

特に、深夜の静穏保持の観点から、遅延便等の一層の抑制に向け、航空会社への指導強化を行うこと

- 3 低騒音機種への切替えを促進すること

- 4 外国貨物機の騒音軽減について引き続き指導を行うこと

- 5 航空機等の点検整備など、安全管理を徹底すること

また、航空機事故の情報や事故原因、再発防止策等について情報提供すること

要 望 書 (案)

「航空機騒音の一層の軽減及び安全対策」
／「防音対策事業」について、別記理由によ
り特段の御高配を賜りますようお願い申し
上げます。

平成30年〇月〇〇日

苫小牧市長 岩倉博文

苫小牧市航空機騒音対策協議会
会 長 丹羽秀則

理 由 書（案）

千歳飛行場は、航空自衛隊の基幹飛行場として重要性が高まっております。

近年、千歳飛行場では、航空自衛隊の通常訓練と政府専用機の訓練に加え、在日米軍再編に伴う訓練移転の開始により航空機騒音が増え、また、自衛隊機や米軍機の事故など繰り返し発生しております。

一方、宅地開発などにより、航路下地域の人口が増加するなど周辺環境に変化が現れてきております。その結果、飛行場周辺の住民は、航空機騒音による生活環境への影響を受け、また、戦闘機事故に対する不安を抱えながら生活をしている現状にあります。

国におきましては、騒音軽減対策及び安全対策を実施されているところでありますが、さらに下記事項について貴職の特段の御高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 市街地上空での低空飛行を避けること
- 2 通常訓練の離着陸コースを遵守すること
- 3 運航自粛時間における飛行の抑制を徹底すること
- 4 訓練・演習における土日祝日の飛行を避けること
- 5 自衛隊機等の点検整備など、安全管理を徹底すること

また、自衛隊機事故等の情報や事故原因、再発防止策等について情報提供すること

理 由 書 (案)

千歳飛行場周辺整備事業につきましては、日頃から格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

厳しい財政事情の中にあつて、逐年飛行場周辺地域の環境整備がなされており、感謝に堪えない次第でございます。

しかしながら、千歳飛行場の南方周辺は航空機の頻繁な離着陸による騒音障害と、在日米軍再編に伴う訓練移転の開始により、騒音がさらに増え、周辺住民の生活安定及び福祉の向上のための諸対策が強く望まれております。

つきましては、下記事項について、貴職の特段のご高配を賜りますようお願い申し上げます。

記

- 1 住宅防音助成については、対象区域を70Wまで拡大するとともに、全室を対象とし、告示後の新築住宅についても対象とすること